

平成24年度 第5回 東京都地方独立行政法人評価委員会
高齢者医療・研究分科会議事概要

1 日 時

平成25年2月12日（火曜日） 15時00分から16時08分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎33階北側 N1会議室

3 出席委員

高久委員長、河原委員、近藤委員、鈴木委員（委員長を除き、五十音順）

4 議 題

- (1) 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第二期中期計画（案）について
- (2) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター年度計画（案）について
- (3) 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター平成24年度上半期業務実績について

5 その他

今後のスケジュールについて

6 議事概要

開会

- (1) 第二期中期計画（案）について、前回分科会からの変更点を説明、本案を平成25年第1回都議会定例会に議案として提出することを報告
- (2) 健康長寿医療センターより平成25年度計画（案）を説明

【質疑応答・委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

◆在宅医療連携病床として5床確保することのだが、需要が多かった場合増床するのか。
(法人回答)

⇒ 当面は5床で運営するが、協力先である板橋区医師会と連携しながら、動向を見て今後については検討する予定である。

◆ロコモティブシンドロームや骨粗鬆症、筋力の回復の研究はJAXAが行っている宇宙医療につながるのではないかと思うが、共同研究等の構想はあるのか。

(法人回答)

⇒ 老化機構を研究しているグループでは、毎年JAXAの宇宙船における実験に参加しており、線虫が無重力状態でより長寿になることがわかっている。今後は、さらに老化をコントロールする新しい遺伝子を見出す研究を行う予定である。

また、無重力の状態は寝たきりの状態と同一であるため、寝たきりが引き起こすサルコペニアについても、よりJAXAとの関係構築を進められればと考えている。

◆緩和ケア病棟の病床数は何床か。

(法人回答)

⇒ 20床である。

◆年度計画にはより具体的な目標や指標を記載した方はよいのではないかと。例えば、「内部監査体制の見直し」だけではなく、「業務監査マニュアルを策定する」としたり、コスト管理で変動費と固定費の低減率目標数値を示す等、一歩踏み込んだ記載をしてほしい。

また危機管理について、リスクが発生する徴候をいち早く捉えることが重要であるため、そのためのマニュアルを作成する必要がある。

◆トランスレーショナルリサーチの推進について具体的な記載がないが、進行中のものは何かあるのか。

(法人回答)

⇒ サルコペニアのバイオマーカーや血管炎による腎障害のバイオマーカーの探索を進めている。

(3) 健康長寿医療センターより平成24年度上半期業務実績について報告

【質疑応答・委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

◆科学技術研究費をよく獲得しているが、どの分野が一番多いのか。

(法人回答)

⇒ ばらついているため、一概には言えない。

◆退院させるにあたり、後方ベッドの確保はどのような状況か。

(法人回答)

⇒ 退院する患者の90%は在宅へ戻るが、10%の方は療養型病床か老健施設に入所される。施設は空きがないので入所させるのに大変苦労している。対応策として、MSWを増員し、各病棟に配置して、入院と同時にアセスメントを行った上で再評価を早めに行い、退院支援が必要と判断した場合には、入院直後から入所先を探すようにしている。

(4) その他

○事務局より、今後の分科会の開催スケジュール等について説明